

## 11月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成29年11月9日(木)
- 2 開催場所 新館8階 181会議室
- 3 出席した委員 田淵教育長、吉田委員、坂元委員、廣岡委員
- 4 欠席した委員 森委員
- 5 出席した職員 高井教育総務部長、大西教育指導部長、  
井部教育指導部調整担当部長、  
小西教育総務部中学校給食準備担当参事、  
野村教育指導部スポーツ振興担当参事、  
石川教育指導部学校教育担当参事、  
吉田教育総務課長、竹中学務課長、  
山本学校教育課長、長瀬青少年育成課長、  
中田教育研究所長、  
山野教育総務課副課長
- 6 傍聴者 2人
- 7 議事の要旨
  - 開 会 午後2時00分
  - 会議録署名委員指名のこと  
廣岡委員に決定
  - 10月定例教育委員会の会議録報告承認のこと  
(事務局から会議録朗読報告)  
承認
  - 会議公開の可否決定のこと  
全ての議事を公開することに決定

(専決報告)

1 加古川市少年補導委員の解嘱及び委嘱について  
(教育指導部学校教育担当参事から説明)

承認

教育長 : 解嘱対象の委員について、任期中に辞任することとなった理由を教えてください。

事務局 : 健康上の理由と聞いている。

(協議事項)

1 加古川市学校給食センター整備運営事業者選定委員会委員の委嘱について  
(教育総務部中学校給食準備担当参事から説明)

原案可決

委員 : 当該委員会が選定しようとしている事業者の業務範囲を改めて教えてください。

事務局 : 施設の整備だけでなく、その後の維持・運営を担う事業者を選定しようとするものである。

委員 : 給食センターは一般の施設と異なる部分が多く、特殊性が高い施設であると考えているが、このたび委嘱しようとしている建築関係の委員の経験や経歴を教えてください。

事務局 : 2名のうち1名は給食センターのPFI案件に携わった経験をお持ちであり、もう1名の方は建築設備の専門家である。

委員 : 選定委員会が組織された後の大まかなスケジュールを教えてください。

事務局 : 後ほど予定されている教育総務部長諸報告の中で、資料に基づき説明させてもらいたい。

2 平成 30 年度加古川市立加古川養護学校高等部第 1 学年の生徒定員について  
(教育指導部学校教育担当参事から説明)

原案可決

委 員 : 加古川養護学校中等部を卒業予定の生徒や、他市から高等部に受け入れる予定となっている生徒の人数を教えてください。

事 務 局 : 中等部の単一障害学級には卒業予定の生徒が 1 名在籍しているが、当該生徒は加古川養護学校の高等部には進学せず、他の特別支援学校へ進学する予定となっている。また、中等部の重複障害学級には卒業予定の生徒が 10 名在籍している。なお、現時点では他市からの新たな受入はない予定だと聞いている。

委 員 : 現時点では次年度の高等部の単一障害学級に属する生徒がいないことになるが、今後、希望者があった場合には教員が適切に配置されるものと理解しておけばよいか。

事 務 局 : そのとおりである。

3 平成 30 年度加古川市立幼稚園職員異動方針について  
(教育総務課長から説明)

原案可決

委 員 : 幼稚園における現在の職員構成の特色を教えてください。

事 務 局 : 園長を担う世代の正規職員が非常に少なく、19 園中 9 園において校長経験者を嘱託園長として登用している。

委 員 : このたび提案のあった異動方針は、嘱託職員も対象としているのか。

事 務 局 : 原則、幼稚園に勤務する職員全体を対象としているが、嘱託園長については、幼稚園教諭としての免許を有していないことや任期の定めがあることなど、様々な要素を勘案して配置することとしている。

委 員 : 原則 3 年以上の在籍者を異動対象にするとのことであるが、在籍年数の上限についてはどのように考えているのか。

事 務 局 : 上限は特に定めていないが、在籍年数が長くなっている職員は出産に伴う育児休業を取得していることが主な理由となっているため、現場に復帰次第異動の対象としていきたい。

委員： 年中クラスの園児は年長クラスへと進級することになるが、教育の連続性という意味でも、2年間同じ教員が担任を受け持つことが望ましい環境であると考えている。

事務局： 定期的に園長との面談を実施するなどし、各園の運営状況を把握した上で、進級や小学校への接続等、様々な観点から効果的であると考えている異動案を作成していきたいと考えている。

#### 4 平成30年度加古川市公立学校教職員異動方針について

(教育指導部学校教育担当参事から説明)

原案可決

教育長： 昨年度と比較すると文言が追加された箇所が3か所あるが、追加された理由や背景をそれぞれ教えてもらいたい。

事務局： 1点目の「職員の資質向上」については、これまでも取り組んできた適材適所な配置による資質向上に関して、明文化することでより明確な方針にしたいという考えからである。2点目の「特別支援教育に対する措置」については、障害者差別解消法の施行等を踏まえ、インクルーシブ教育の発展を重要な観点と捉えているためである。3点目の「再任用の配置」については、近年の再任用職員の増加に対応するためのものである。いずれも兵庫県の異動方針に追加されており、その点も加味した変更内容となっている。

教育長： 本日決定する異動方針については、今後、校長会及び園長会において事務局から周知することになると思うが、変更点がわかるよう丁寧な説明を心掛けてもらいたい。

委員： 在籍9年以上の職員を積極的に異動させる旨の規定があるが、現在そのような同一校長期勤務者は何名程度いるのか。

事務局： 過去には多くの同一校長期勤務者がいたが、長期勤務の弊害が指摘される中で、近年はその数が激減しており、数名を残すのみである。

教育長： 特に中学校においては、担当教科や担当部活動の観点から長期勤務が発生する傾向があったが、兵庫県からの強い改善指導等を踏まえながら計画的に同一校長期勤務者を異動させてきたことにより、その数を減らしてきたという経緯がある。なお、管理職も含め、ユニット内における校種間異動を実施することにより、連続性・継続性を持った教育が実現できるよう取り組んでいるところである。

委員：本日、志方中学校を訪問したが、そこで対応してくれた志方ユニット担当の指導主事が、当該校のみならず全市的な職員構成まで非常に緻密に分析していたことに感心した。学校に対しても職員構成上の課題や解決方針等を適切に指導・助言しており、心強く感じた。

教育長：学校園の運営に大きな影響を及ぼす教職員の人事異動案の作成は、事務局における最も重要な職務の1つだと考えている。なお、「人事異動は最大の研修機会である。」とも考えているため、異動した職員が新たな職場で貴重な経験を積み、更なる成長を実現できるよう効果的な配置を考えていきたい。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

12月15日（木）午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 各種事業における学校園への協力依頼について

2学期は学校においても市においても様々な行事やイベントが開催される時期である。市の事業に関して学校園に協力を依頼する場合には、丁寧でわかりやすい説明を心掛けるとともに、学校園にとっても有意義な点があることを理解してもらえるよう努めてもらいたい。

## ○ 教育委員諸報告

[吉田委員から]

### (1) 学校園訪問について

今年度の学校園訪問を全て終えたところであるが、総括として事務局に対して2点お願いしたい。1点目は「学校と地域の連携」についてである。各地域にはそれぞれ異なった特色があるため、その特色を生かした連携の姿が存在するものと考えている。そのため、事務局から画一的な連携を促すのではなく、特色のある「開かれた学校」が実現できるよう地域ごとの検討を進めてもらいたい。2点目は「授業展開のあり方」についてである。例えば、防人に関する和歌を取り扱うのであれば、修学旅行で触れた平和学習に関連付けて展開するなど、学習指導要領から一步進んだ授業を心掛けていただき、人間性あふれる子どもたちを育ててもらいたいと考えている。

委員：2点目の件に多少関係すると思われる事例として、以前訪問した学校で見た英語の授業を紹介したい。米国で銃の乱射事件が発生した時期であったが、授業のはじめに米国の銃所持率に関する数字を紹介した上で、英語で意見交換を行っていた。時事的な事案を取り入れ、生徒に考えさせる授業の展開に成功していた良い例であると思う。

[廣岡委員から]

### (1) 学校園訪問について

このたび、平岡中学校を訪問させていただいた。従前に比べて非常に落ち着いた雰囲気であり、生徒からも気持ち良いあいさつを受けた。掲示物も歪んだりすることなく丁寧に取扱われており、対象物も各学年ごとに統一されていた。そのような環境整備が落ち着いた校風を醸成していることを改めて認識することができた。現在4年目となる校長のリーダーシップも大きく寄与しているものと考えている。

[坂元委員から]

### (1) 中学校社会科教育研究大会について

11月2日に平岡南中学校で開催された社会科教育研究大会に参加させていただいた。授業では「アクティブラーニング」が取り入れられていたが、以前に比べ、教員も生徒も慣れてきており、「アクティブラーニング」がかなり浸透していることを実感した。

### (2) 志方中学校70周年記念式典について

70周年にあわせて作成された記念冊子は、地域の方へのインタビューがまとめられているなど、非常に充実した内容であった。また、合唱も非常にがんばっており、全体を通じて学校の規模や特色を生かした素晴らしい式典であったと思う。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 城の宮地区の中学校区に関する要望について

10月4日(水)に平成29年度第1回加古川市立学校校区審議会を開催し、城の宮地区においては平岡中学校への就学を弾力的に認めることが望ましいとの意見を委員全員からいただいた。

これを受けて、「就学すべき学校の変更に関する要綱」を改正し、平成30年4月から中学校に進学する城の宮地区の児童について、平岡中学校への校区外就学を許可することとする。

委員：このたび、城の宮地区の中学校区に弾力的な運用が取り入れられたことは評価したい。なお、両中学校との通学距離等を踏まえ、そもそも小学校区の見直しを要望するような声はないか。

事務局：校区審議会での議論を含め、現時点ではそのような要望はない状況である。城の宮地区と平岡中学校との距離は約2.4キロメートル、平岡南中学校との距離は2キロメートルであり、差は400メートルであることや、就学先はあくまでも選択制としていることなどから、当該地域の方にも受け入れていただける制度になっているものと考えている。

(2) 就学援助(入学準備金)の新設について

経済的理由によりランドセルや制服など入学に必要な物品等の準備に困ることがないように、平成30年度に入学予定の新小学1年生及び新中学1年生の保護者に対し、今年度から入学準備金を入学前に支給したいと考えている。

今後、平成29年12月議会において補正予算案を上程し、議決後に規則改正を行う予定である。

委員：一部の地域において、PTA活動の一環としてランドセルや制服のリサイクルを実施しているところがあると聞いている。今後、学校からPTAに対してリサイクルの実施を積極的に促すことはできないのか。

事務局：PTA連合会の役員会等で取り上げてみたい。なお、学校が主体となって制服等のリサイクルに取り組んでいる状況もあり、かなりの数の物品の提供を受けている。保健室等において非常時の代替服として利用するなど、学校がリサイクル物品を保有することで効果的に活用できているものと考えている。

(3) (仮称) 日岡山学校給食センター整備及び運営事業について

中学校給食の実施に向け検討を進めている(仮称)日岡山学校給食センターにおける整備及び運営事業について、その事業概要等を報告する。

委員 : 事業者の選定方法としては、提出された資料を基に判断する、直接事業者と意見交換をするなど、様々なものが考えられるが、現時点では事務局としてどのように考えているか。

事務局 : 事業者の選定方法や手続等も含めて当該委員会において協議を行う予定としている。なお、選定委員会の流れとしては、まず事務局が作成する要求水準書の内容を確認してもらうことになる。

委員 : 実際に現場で建設工事が進む中で気付く点もあるかと思うが、当初予定していなかった部分でも改良を認めるような柔軟性は有しているのか。

事務局 : 市側が提案した水準は担保してもらうことを前提として、両者の協議を経て設計内容を変更して改良するような余地はある。

以上、3件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 加古川市成人式記念事業の実施について

11月11日(土)及び12日(日)に、「成人式記念事業(社会貢献事業)」を実施する。

(2) 第4回社会教育委員会議の開催報告について

10月20日(金)に、第4回「社会教育委員会議」を開催した。

(3) 第5回記念加古川市民スポーツカーニバルについて

11月2日(木)から4日(土)に第5回記念加古川市民スポーツカーニバルを開催した。

(4) かこがわイングリッシュ・デイキャンプについて

12月16日(土)にかこがわイングリッシュ・デイキャンプを開催する。

委員 : 定員を超えた場合、抽選を行う旨が記載されているが、希望者全員を受け入れることはできないのか。



事務局： 施設上の定員があるため、定員を大幅に上回る場合は全員の受入れが難しい。ただ、より多くの児童に参加してもらいたいという思いは持っているため、従前は年1回であったものを昨年度から年2回に増やしている。なお、次年度以降さらに1回増やすことも検討している。

委員： 回数を増やした場合、過去の参加実績等を踏まえて初参加の児童を優先するなど、より多くの児童が参加できるような配慮がなされているという認識でよいか。

事務局： そのとおりである。

(5) 研究発表会の開催について

11月22日(水)に別府ユニットで加古川市指定研究発表会が開催される。

(6) 全国学力・学習状況調査結果のリーフレットについて

平成29年度の全国学力・学習状況調査結果を分析したリーフレットを、学校・保護者に配布する。

委員： 本市の児童生徒の家庭学習の充実度が全国平均と比較して低く、特に「復習」に関しては6パーセント以上の差が生じている。市としての目標水準を定めた上でPDC Aサイクルの指標として設定するなど、改善に向けた積極的な取組が必要な状況であるものと考ええる。学校からPTAを通じて各家庭に働きかけを行うなど、何らかの対策を講じてもらいたい。

教育長： 学習の手引きを作成して啓発を行うなど、これまでも様々な取組を実施してきたが、成果として表れにくいのが現状である。

委員： 市内中学校において、生徒一人につき1冊ずつノートを渡し、1日1ページを目安に家庭学習に取り組みさせることにより、成績が向上した例があると聞いている。そのような成功事例を共有するなど、様々な工夫を検討してもらいたい。

委員： 読書習慣についても、全国平均と比べて定着の度合いが低い。同じく改善が必要であると考ええる。

(7) 第70回加古川市小学校連合音楽会について

第70回加古川市小学校連合音楽会が、11月17日（金）に加古川市民会館において開催される。

委員：様々な学校からの参加がある中で、同じ選曲をしている学級もいくつか見受けられる。そのような場合、学校の枠を越えて合同で合奏・合唱することは検討できないか。

事務局：選曲は各学校に委ねているため、偶然同じ楽曲になることはある。ただ、やはり一緒に練習する機会もないため、連合音楽会当日に合同でパフォーマンスすることは現時点では難しいものとする。

委員：例えば、待ち時間を利用して別室で合奏するなどし、お互いの練習成果を共有することは、子どもたちにとってもよい刺激を得る機会になると思うので、一度考えてもらいたい。

事務局：連合音楽会を担当している音楽研究部会とも一度相談してみたい。

(8) 「学校と警察との情報連携に係るガイドライン」について

10月17日（火）に締結した「加古川市教育委員会と兵庫県警察本部との相互連携に係る協定書」に基づくガイドラインを作成した。

(9) 「平成29年度 加古川市教職員研修会アンケート集計結果」の報告について

8月18日（金）に、平成29年度加古川市教職員研修会を開催した。欠席者には、当日のビデオにより25日（金）に研修会を行った。アンケートの集計結果について報告する。

以上、9件について報告

○ 閉会 午後3時40分